



さいたま市介護支援専門員協会
ロゴマーク

STARTS NEW

Vol,47

2017 年秋号

平成29年度 第2回全体研修会

事例検討 「困りごとワールドカップ」

開催日時 平成29年7月22日(土) 14時00分～16時00分

開催場所 浦和ふれあい館 第1会議室

浦和ふれあい館でケアマネジャー23名が参加し、「困りごとW杯グループリーグ」と称し、事例検討会が行われた。



4, 5名ずつ5グループに分かれ、担当ケースで困難だった場面、行き詰まった時の気持ち、不安感等を思い出しながら、そのテーマを選んだ理由、具体的に困ったことは何か等の振り返りを行った。その内容をリフレクションシートに沿って一人ずつグループ内で発表した。

生活困窮者のケース、認知症や精神疾患があり介入が難しいケース、虐待ケースなどの事例が上がり、それぞれの事例の解決方法について意見を出し合った。

精神疾患を持っている利用者には、訪問看護の導入検討や、ケアマネの思いと利用者の思いに相違があることを理解し、利用者本位の生活を大事にしていくことが大切であることを共有

した。

自分の視点と違う意見を聞くことで気づきに繋がったり、解決策はすぐになくても利用者との信頼関係ができていくことが大切なのではないか等の意見も励みになった。

その後グループごとに1事例を上げ、全体で発表した。

優勝グループを決める時間がなくグループリーグは終了となったが、どの事例も勉強になり今後の研修に活かしていきたいと思った。



南区 活動報告

テーマ「認知症があっても地域で暮らし続ける」

平成28年度地域リハビリテーション 活動支援事業モデル事業を活用して

開催日時 平成29年7月10日(月) 10時00分～12時00分

開催場所 武蔵浦和コミュニティセンター8階 第4集会

今回は、参加人数25名の内、非会員9名の出席を含め、南区西部圏域シニアサポートセンターけやきホームズの飯塚氏をお招きし、地域リハビリテーション活動支援事業を活用し、西部圏域で現在開催している100歳まで元気「ココニール」・けやきホームズ「100歳体操教室」おしゃべりサロン「福」の中から、個人宅の居間を開放した高齢者サロンの立ち上げを支援した、おしゃべりサロン「福」の活動について紹介していただいた。サロン開催のきっかけは、近所にお茶飲み友達がいなくなり寂しいと訴える認知症の家族と担当ケアマネより、自宅を開放したいと包括に相談があり、民生委員と生活支援コーディネーターが個人宅を訪問し、サロンの説明と勧誘を始め、昨年11月24日にスタートした。

その日は、季節外れの大雪で参加者は2名。さいたま市医療センターのST2名が支援に同席し、自作カードを用いて、楽しくわかりやすい認知症予防について話し合った。カードはシルバー川柳になっており、引いたカードの裏には川柳の説明が記載されており、少ない人数の中でも掘炬燵を囲み、アットホームな雰囲気の中でまずまずのスタートだった様子。

現在は、ボランティア2名や、社協からの紹介

で近隣に住む1歳児の親子も参加し昔話や料理の話で盛り上がり、100年以上のぬか漬けを持参し振る舞ったり、若い主婦がぬか漬けを習った後、今度は若い主婦が習ったぬか漬けを持参し





振る舞うと言う、現代には少なくなつたご近所付き合ひの復活ができるようになった。サロンの会場となつた認知症の女性は、最初は戸惑いもあつた様子だが、コーディネーターがなるべく本人の負担にならないようコップを用意し、お茶を沸かしてもらふことで本人の役割が図れるよう配慮も行った。結果、現在デイサービスとヘルパーを利用中であるが、認知症ではあるものの自宅に近所の人が遊びに来ることがとても嬉しいとヘルパーに話すなど、色々な人と触れ合うことで良い刺激となり、認知症進行の予防が図れていることと、地域の人は認知症状のある人と触れ合うこと

で、認知症の理解が深まっていると感じ、サロン開催の効果は表れているようだ。

4月からは、サロンを自主化しリーダーはいないが、それぞれが主役としてお互いが見守り、支え合うことで要支援、要介護者のインフォーマルサービスが強化され、地域に根付いている事例として、今後も絶えることのない活動を期待したい。

北区・見沼区合同サロン

テーマ「教えて訪問看護ステーションのこと」より良い連携を目指して

開催日時 平成29年9月14日(木) 14時00分～15時30分

開催場所 コスモスクエア 6F多目的ルーム

本年度の見沼区・北区合同サロンは、医療と介護の連携が必須になっている昨今、身近で活躍している訪問看護師さんとの距離を縮め、親交を深め、顔の見える関係を作ることを中心に、両区の訪問看護事業所をお招きし、ワークショップ形式で行われた。

北区・見沼区は訪問看護事業所の新設も多く、恵まれている地域と言える。また同時に意識の少ない事業所も多いとも言えるので、各々の事業所の特徴や、強みを知り、在宅介護の強い味方となつていただけよう、またお互いに連携を図っていくことを目的とし企画した。

参加訪問看護事業所は10事業所12名、参加ケアマネは39人と盛況の中行われた。

まず、各々の訪問看護事業所より、事業所の特色や訪問エリア、連携の多い病院等をご説明いただいた。担当制・チーム制と対応方法が違つ

ていたり、精神疾患の方・幼児・呼吸器疾患等高齢者以外の患者も対応している等、個性がいろいろあり勉強となった。

「ご本人やご家族に体や病気の仕組みをわかりやすく伝え、ケア方法を伝達することに力を入れています」「介護相談や訪問診療医を教えて欲しいという相談にも対応しています」「退院に向けて、退院調整会議からご利用者の心身状態・介護力をアセスメントし、在宅療養に何が必要かを、ご家族だけではなく、病棟看護師にも提案・交渉し調整しています。言いにくいこともバンバン言いますよ!」「理学療法士のケアで訪問しているご利用者でも、体調が思わしくない方は看護師も同行し、健康状態を確認しアドバイスしています」「下肢浮腫のひどい方のフットケアに力を入れています」「褥瘡や人口肛門等対応できる皮膚・排泄ケア認定看護師も在籍していま



す」

人工呼吸器・在宅酸素・疼痛コントロール・緩和ケア・神経難病の方、精神疾患・自立支援医療の方、ガンや老衰の看取り：等様々な状態や、また併設のクリニックや施設の利用者だけでなく、居宅も対応している等々幅広く支援されている。他、事業所外にサテライトオフィスを構えている事業所が2事業所や看護師以外のPT・OT・STがいるステーションも増えており、在宅看護の発展を感じた。

後半は、フリータイムとし、ケアマネが各々の訪看ブースを回り、名刺交換をしたり、簡単

に事例を相談したりと個々に直接会話を交わし合い、笑顔多く盛り上がった。

最後に今回のサロンの感想を訪問看護師代表として、社協訪看ステーションおみや管理者の知崎氏より「今日はケアマネと看護師が直接交流できて、楽しかったです。医療と介護の連携は国の施策となつていますが、顔を合わせてお互いを知りながら、一緒に痛みを分け合う時もあるれば、喜び合う時もあり・地域の中で皆さんと一緒に良いケアをしていきたいと思えますのでよろしくお願い致します。訪問看護協会でも研修を企画しています。年明けに実際に増えているガン末期や高齢者に多い疾病から、緩和ケアとスキンケアの認定看護師を中心に、ケアマネさんとグループワークをしようと計画しています。連携を深めていく機会になりますの

施設ケアマネ研修会の報告

テーマ 「施設ケアマネとして自信をもって働くために」

アドバイザー 社会福祉法人欣彰会 高齢者総合サービスセンター 敬寿園七里ホーム

施設長 邨山 由起子氏

開催日時 平成29年7月29日(土) 14時00分～16時30分

開催場所 武蔵浦和コミュニティセンター第3集会室

今回の研修は、途中休憩を挟み前後半に分けて実施した。

前半では、昨年度の施設ケアマネサロン「ケアプラン作成に関する情報交流会」でのグループワークのまとめを配布し、1. 困りごと、2. 疑問点 について5～6名のグループで意見を

で、ご案内が届きましたら、ご参加の程よろしくお願ひします」とのお話をいただいた。

参加者アンケートから「訪看ステーションの特性が判り選択の幅が広がった」「講義形式ではなく、ざつくばらんな気軽な会だったので、看護師さんの堅いイメージが変わり気軽に相談できそう」「楽しく情報をいただけてよかった」「看護師さんのやる気が素晴らしく勇気づけられました」と身近に寄り添い合える関係性を作るきっかけを提供できたのではないかと思えるご意見が多く集まった。

サロンは地域に寄り添った内容を企画していくことが、地域力を上げていく一助になるのではないかと役員同志で振り返り、次回も身のある企画をし、開催しようと話し合い終了した。

抽出した。

1. については、「ケアプランがどれも同じような内容になってその人らしさが欠けてしまう」「本人・家族の意向をうまく引き出せない」「入所前の事前情報とのギャップがあって、プランの作り直しが難しい」「他部署との連携が難しい」

といった意見が聞かれた。2. では、「ケアプランの設定期間」に関する疑問が複数のグループから提出された。

後半は邨山氏が登壇し、発表されたグループの意見についてアドバイスを頂く形式で進行了た。

入居時暫定プランについては、監査での指導もあり、必ず立案する必要がある。1か月程度様子を見て本格的なケアプランを作成すると良い。細かい情報収集のためには介護職員の協力を得て、24時間シートを活用してはどうか。それはそのままアセスメントシートとして代用可能であり、究極のアセスメントシートと言えるものである。

情報収集に関しては、他職種の力を借りることが大切であり、そのためには担当者会議が重要となる。ケアマネの職責で開催しなければならぬものなので、そのつもりで開催できるように工夫してほしい。

ケアプランの内容に関しては、専門家が判断するノーマティブニーズにあまりこだわらず、利用者が自覚するフェルトニーズに目を向けるとプラン内容のレパトリーを増やすことができる。そのためには、利用者の発するなげない言葉や表情の変化に如何に気づくことができるかが大切である。(ここで奥川幸子著『身体知と言語』から「言葉をひっかける」という表現を紹介。分厚い本だがめげずにトライしてほしい。他にも六車由実著『驚きの介護民族学』を紹介された。)

プランの設定期間については定められたもの

はなく、個々で判断する。また職場(会社)の規則に従うこと。

職場でのコミュニケーションに関しては、「ケアマネとしての私」にこだわらず、「組織の中で求められている私」と置き換えて、施設の中堅職員としていかに施設を動かしていくか、という発想を持つてみてはどうか。

最後に、「組織性としての学びをしていかなないとケアマネとしての成長もない」ということが、今回の研修を通じて一番伝えたいこと、と述べて研修を締め括られた。

アンケートからは「周りのケアマネも同様



の悩みを抱えていることに安心した。ひとりでも思い悩んでいたのも勇気づけられた。新しい情報やプランのこと、一番悩んでいた組織のことなど、学ぶ機会がなかったので今回出席して本当に良かった。「具体的な内容が多く大変参考になった。」「ケアマネとしてだけでなく、職員として考えるなど、見方を変えていくと良いことが心に響きました。」「施設ケアマネに求められるもの、必要な技術等わかりやすく勉強できた。」などの感想が寄せられ、ここで紹介できなかった方も感激の気持ちのうかがえる長文で書かれた方も複数あり、大変好評な研修会となった。



ちょっと coffee break

「日本の四季を楽しむ」 会員S

秋は、スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋、読書の秋など楽しみの多い季節です。

子供の頃は、秋休みが無い季節と嘆いていましたが、四季を楽しむ事が出来、大人になったと実感しています。皆様は、何の秋を楽しみますか？

ある数字の話題が2つ頭に残っていたので、勉強の秋を楽しみませんか？

1つ目は、 $40 - 32 \div 2 = ?$ という問題に、小学生が『4！』と回答。それに対し、文系『やっぱり、わからないか』とコメント。理系『正解！良くわかっている』とコメント。

この問題は、『4！』の回答をどの様に捉えるか？という問題です。

同じ回答を目の前にしても、受け取る側の認識が違えば、評価が変わってしまうということ。

ケアマネジメントの際にも同様のことが言

えるのではないのでしょうか？情報を受け取る側の認識の違いにより、評価が変わってしまうことはありませんか？

2つ目は、数字の『0』という考え方。『0 = 何も存在しない』という考え方です。

ケアマネジメントに置き換えると、今の困り事は何だろう？と考えてしまうと、病気であり、障がいに関連することが先行してしまいます。そこで『0』の考え方。病気や障がいを無い物と考えると、今やりたいことは何だろう？と考えられます。マイナスではなく、プラスに物事を考えることが大切です。

数字の話題から、ケアマネジメントに対する気付きに発展することもあります。秋の夜長に、数字と向き合うのも楽しいかも知れませんね。

ちなみに、 $4! = 4$ の階乗なので、 $4 \times 3 \times 2 \times 1 = 24$ となります。

ご案内

◎平成 29 年度 さいたま市「介護の日」フォーラム ～安心は地域の絆から～

開催日 平成 29 年 11 月 10 日（金） 開場 9 時 45 分

場 所 浦和コミュニティセンター多目的ホール 浦和 PARCO・コムナーレ 10 F
定員 400 名（申し込み不要）

内 容 I 部 10 時 10 分～12 時 00 分 表彰・事例発表

「支える力 街のたから」～介護現場を支えるすべての人に～

II 部 13 時 30 分～15 時 30 分 トークセッション

「無縁社会から共生社会へ」～人 ときに家族 ときに介護者 ときに市民として～

事務局

〒331-0823 埼玉県さいたま市北区日進町2丁目1864-10

JS日進 さいたま市社会福祉協議会内 さいたま市介護支援専門員協会

（連絡先）社協 地域支援課 TEL 048-834-3133 FAX 048-835-1222

社協 浦和区事務所 TEL 048-834-3131 FAX 048-833-3199

リニューアルしたので見てください～い!!

ホームページ

<http://www.saitamashi-keamane.jp>

さいたま市介護支援専門員協会